

系の年中行事

當者 卯藏 吉倒顔兎世興行 東西台同 大歌舞伎

【主催・製作】松竹株式会社
【後援】京都府・京都市・京都商工会議所・京都市観光協会

令和4年
12月4日(日) 初日
▶12月25日(日) 千穉楽
(12日(月)・19日(月)は休演日)



●各部とも開場は開演の30分前(予定)

第二 女殺油地獄 三幕

近松門左衛門 作
おんな ころし あぶらのじ かく

河内屋兵衛 豊嶋屋七左衛門 小栗者八小菊 妹お栗か八弥 母お小さか 山口入森右衛門 山本森徳兵衛 河内屋兵衛 内本屋徳兵衛 兄内太兵衛 吉衛郎

孝亀橋松橋梅千鷹壱進愛 太三之太之太之 郎鶴郎助郎花助資郎介助

第一 年増 三幕

とし 増ま 常磐津連中 柳蔵

◆第一部(午後六時開演)

第二 秀種の内山松浦の太鼓 二幕三場

まつうら たいこ 二幕三場

松浦高源鎮 大高川文太夫 近習江都右衛門 近習里見幾之丞 近習早瀬近 近習鶴左司 近習井其角 宝井其角

歌千橋橋鷹虎隼獅 之三太之之 六助郎資介人童

第一 恋飛脚大和往来 一幕三場

ふら 恋 一幕三場

◆第一部(午後二時十分開演)

第二 龍虎 三幕

大野恵造 作 竹本連中

虎扇之介 虎 虎扇之介

第一 義経千本桜 一幕

よし つね せん ほん さくら 一幕

◆第一部(午前十時三十分開演)

おいがみの権太 弥助三中将維盛 若葉の内の侍 弥左衛門女房おくら 鮮屋弥左衛門 梶原平三景時 鷹治郎

獅壱郎 隼太 吉太 梅太 花太 龜藏 鷹治郎

京都南座
〒605-0075 京都市東山区四条大橋東詰
TEL.075(561)1155

松竹ホームページ <https://www.shochiku.co.jp>
歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」 <https://www.kabuki-bitto.jp>

11月9日(水)午前10時より電話予約・Web受付開始

チケットホン松竹 ☎0570-000-489
または ☎06-6530-0333

- 受付時間/午前10時～午後5時
※ナビダイヤル、交換機等の設定によってはかかりません。
- 窓口発売、切符のお引取りは11月11日(金)より
○窓口販売用別枠でのお取置きはございません。

〈前売券取扱所〉南座・大阪松竹座・歌舞伎座・新橋演舞場

チケットWeb松竹 チケットWeb松竹 検索

- パソコン、スマートフォンより24時間受付
(11月9日の発売開始日は、午前10時より受付開始)
- チケットWeb松竹のお問い合わせは
☎03-3545-2200(午前10時～午後5時)

- チケットぴあ
Pコード:515-384
w.pia.jp/t/minamiza/
- イープラス
eplus.jp/minamiza/
- ローソンチケット
Lコード:51418
l-tike.com/minamiza

〈ご観劇料〉(税込)

1等席 / 17,000円
2等席 / 9,000円
3等席 / 5,000円
特別席 / 19,000円

文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動によるアートキャラバン事業

【お願い】お買い上げになりましたチケットは、興行中止をのぞいて、ご変更やお取消しはいたしていません。また、転売目的でのチケットの購入は固くお断りいたします。

【すし屋】

大和国下市村のすし屋の主人弥左衛門は、旧恩ある平重盛の子息・維盛を奉公人の弥助として匿っています。そこへ現れたのは、勘当の身の息子、いがみの権太。弥助の素性を知った権太が褒美欲しさに訴人しようとするところへ、源頼朝の重臣・梶原景時が訪れ、維盛の首を差し出すよう弥左衛門に命じます。権太が維盛の首とその妻子を突き出すと、怒った弥左衛門は思わず権太を刺しますが、権太の口から意外な真相が明かされ……。親子の情と一家の哀切を描く、義太夫狂言の名作をご堪能ください。

【龍虎】

険しい巖の上に天の王者である龍と、地の王者である虎が姿を現します。二頭の聖獣は互いに毛を振りたてて勇ましい戦いを繰り広げますが、勝敗は決することなく、龍は天に昇り虎は洞窟へと去っていきます。迫力ある音楽で展開される、趣向に富んだ勇壮な舞踊にご期待ください。

第一部（午後一時十分開演）

【封印切】

飛脚問屋亀屋の養子である忠兵衛は、井筒屋抱えの遊女梅川と深い仲。身請け金の工面ができずに窮しているところへ、梅川に横恋慕する飛脚仲間の丹波屋八右衛門が現れ、梅川を身請けすると言い出します。八右衛門と言いつ争う内に、忠兵衛は蔵屋敷へ届ける為に預かった公金三百両を身請け金だと言つて、金包みの封印を切つてしまい……。近松門左衛門『冥途の飛脚』が原作の、悲劇的な結末が胸を打つ上方和事の代表作です。

【松浦の太鼓】

師走の两国橋で、俳人の宝井其角と赤穂浪士の大高源吾が再会すると、源吾は其角の「年の瀬や」で始まる句に続けて「明日待たる、その宝船」と句を残し、立ち去ります。翌日、吉良邸の隣家に住む松浦鎮信は、未だ仇討ちをしない赤穂浪士に苛立ちを募らせていましたが、句会に招かれていた其角から源吾の残した句を聞くと、その意味を思案します。そこへ隣から陣太鼓の音が聞こえ、松浦侯は赤穂浪士の討入りを悟り、助太刀に向かおうとしますが……。赤穂浪士の吉良邸討入りの前日から当日を描いた、忠臣蔵外伝物の名作をお楽しみください。

第三部（午後六時開演）

【年増】

花盛りの隅田堤で駕籠の中から姿を現したのは、元深川芸者のお柳。ほろよい加減のお柳は、芸者であった頃の旦那との馴れ初めや、浮気相手の芸者との痴話喧嘩を思い返します。いつしか酔いも醒め、我に返り気恥ずかしくなったお柳はその場を去るのでした。江戸の粋で華やかな風情が感じられる、ユーモラスな舞踊劇です。

【女殺油地獄】

油屋を営む河内屋の次男・与兵衛は、放蕩三昧で喧嘩沙汰ばかり起こしています。借金返済に困り、親からも金を巻き上げようとすると始末で、とうとう家を追い出されてしまいます。金の工面に困った与兵衛は、近所で同じ油屋を営む豊嶋屋の女房お吉を頼ろうと店を訪れたところ、両親の慈愛あふれる心を知ります。もう親に迷惑はかけられないと悟った与兵衛は、お吉に金を貸して欲しいと迫りますが……。現代にも通じる若者の心理や親の情などを描いた世話物の人気作です。

新型コロナウイルス感染防止対策へのご理解とご協力をお願い

- ◎マスクの着用、咳エチケット、手指消毒にご協力ください。
- ◎マウスシールド・フェイスシールド等のみご着用はご遠慮ください。
- ◎劇場入口付近でサーモグラフィーによる体表温度スクリーニングを実施し37.5℃以上の発熱が確認された場合や、体調不良とみうけられた場合はご入場をお断りいたします。
- ◎休憩時間のお食事は客席での飲食に限らせていただきます。飲酒はご遠慮ください。ロビーでは飲食できません。
- ◎客席内での私語、会話はお控えください。また、ロビー等での会話も出来る限りお控えください。
- ◎出演者への出待ち、入待ち、プレゼント等はご遠慮ください。

- ◎大向うや掛け声はお断りいたします。
 - ◎場内の清掃・消毒のため各部完全入れ替え制としております。客席場内の全座席は毎日消毒いたします。
 - ◎場内の換気、温度は適正に保たれております。通常時よりも換気の促進を強化しております。
 - ◎ご退場の際は、出口の密集を避けるため順番にご案内しております。
- ※ご観劇前に「松竹公式サイト」、歌舞伎公式サイト「歌舞伎美人」の感染症対策についての記載を必ずご確認の上、ご来場くださいますようお願い申し上げます。

場内サービスのご案内

- ◎ご観劇に関するお問い合わせは南座TEL075-561-1155(代表)
- ◎切符売場は南座劇場向かって左側にございます。営業時間は午前10時～午後5時30分までとなります。
- ◎「吉例顔見世興行」公演日は午後6時まで延長)